(ID　0　) ☆7

治療計画書

療法名　R-フルダラビン　療法　1サイクル 4 週

疾患名　低悪性度非ホジキンリンパ腫(6サイクル)

注射 / 内服 / 放射線	Rp	商品名 / 用量(/回) / 用量(/日) / 照射部位 / 照射量	用量(/回)	投与ルート	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
注射	1	生理食塩液	200 ml	点滴	キープ	●																										
注射	2	リツキシマブ	375 mg/㎡	点滴(側管)	フローシートに従う	●																										
		生理食塩液	ml	10倍希釈																												
注射	3	生理食塩液	50 ml	点滴(側管)	ルートフラッシュ	●																										
注射	4																															
注射	5																															
注射	6																															
注射	7																															
注射	8																															
内服	1	ネオマレルミンTR	6 mg	リツキシマブ投与30分前		●																										
内服	2	ブルフェン	200 mg	リツキシマブ投与30分前		●																										
内服	3	フルダラ	40 mg/㎡	1日1回(リツキシマブ投与終了後)		●	●	●	●	●																						
内服	4																															
内服	5																															
内服	6																															
内服	7																															
内服	8																															
内服	9																															
内服	10																															
放射線			Gy																													

特記事項

・腎機能低下患者では、CCrに応じて減量
・リツキシマブの最大投与回数8回

減量規定

薬品名					フルダラ
標準投与量					40 mg/㎡
1段階減量	【クール中の毒性発現(下記の場合、1段階減量)】 1)好中球数＜500/μ lが1週間以上持続　2)血小板数＜25,000/μ lが1週間以上持続 3)血小板輸血実施　4)発熱性好中球減少症、G3以上の非血液毒性発現時				30 mg/㎡

【次クール開始基準】

1)好中球数≧1,200/mm^3　2)血小板数≧75,000/mm^3 3)AST,ALT＜施設基準の2.5倍 4)T-Bill、Cr＜施設基準の1.5倍 5)G3以上の非血液毒性が持続していない

●上記基準をすべて満たすとき①次クール開始予定日から1週間以内:フルダラ40mg/m^2/日で開始。 ②1週間を超えて3週間以内:フルダラ30mg/m^2/日で開始。
　3週間を超えて基準を満たさない場合:中止

●一旦減量した場合は、以後のクールにおいて増量は行わない。30mg/m^2で開始し、副作用が発現した場合は投与を中止する。